

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

中央銀行プレスリリース

2022年2月11日

対外セクター概況 - 2021年12月

概要

7か月連続で10億米ドルを上回る高い輸出収益が続いたものの、輸入は急増し月間で過去最高の輸入支出額を記録し、2021年12月の貿易赤字は前年同月比で拡大。2021年年間の貿易赤字は、輸出の伸びを輸入が大幅に増加し著しく拡大した。2021年12月の観光客数は前月を大幅に上回り、勢いが続いている。一方、国外労働者からの送金は、インセンティブと季節的要因から前月比で増加。インターバンク市場の平均スポット為替レートは、当月も1米ドル=201ルピー前後で推移。

表1：対外セクター 実績 サマリー

カテゴリー	2020年 12月 100万米ドル	2021年 12月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1~12月 100万米ドル	2021年 1~12月 100万米ドル	推移 (%)
商品輸出	964	1,156	19.9	10,047	12,502	24.4
商品輸入	1,527	2,241	46.8	16,055	20,637	28.5
貿易収支	-562	-1,085		-6,008	-8,136	
観光収入	1	120	-	682	261	-61.7
国外労働者からの送金	813	325	-60.0	7,104	5,491	-22.7
CSEへの純流入	-16	4		-225	-238	
政府への総流入	98	348.00		2,002	2,435	
国債	16	1		120	17	
長期ローン	81	348		1,882	2,418	
外国直接投資（総額）				543	567	
合計				-2,328	-3,961	

出典：スリランカ税関当局 (SLC)、スリランカ観光開発委員会 (SLTDA)、コロンボ証券取引所(CSE)、
スリランカ投資委員会(BOI)、スリランカ中央銀行(CBSL)

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

貿易収支と貿易指標

貿易収支：貿易赤字は、前年同月の5.62億米ドルから10.85億米ドルに拡大、月間では過去最高額に。一方、2021年累計の貿易赤字も、前年の60.08億米ドルから81.36億米ドルに拡大。主な要因は図1のとおり。

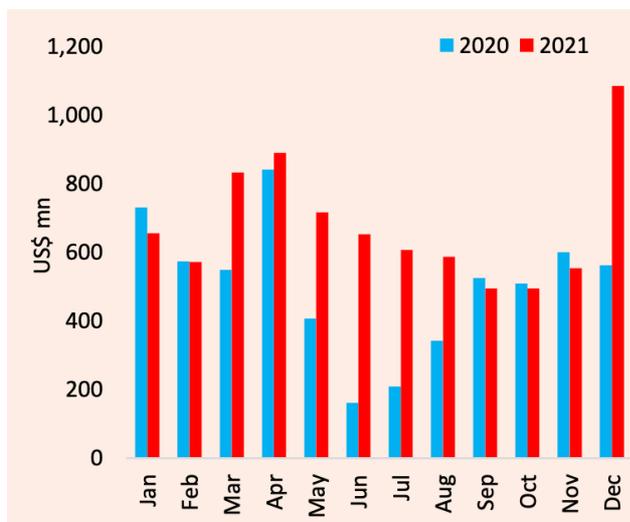
貿易指標：貿易指標（輸出価格と輸入価格の比率）は、輸出価格の上昇が輸入価格の上昇を上回り、前年同月比で4.6%改善。一方、2021年年間では、前年比で7.8%悪化。

図1：2021年1～10月期 前年同期比 貿易赤字拡大主要因（百万米ドル）



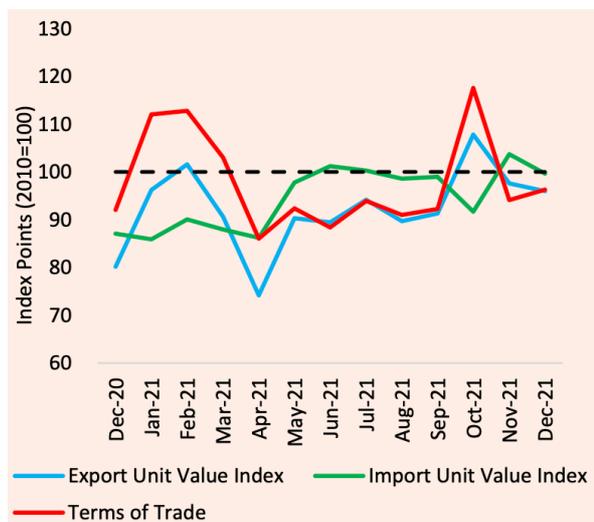
出典：SLC、CBSL

図2：月別貿易赤字（2020～21年）



出典：SLC、CBSL

図3：貿易指標（2020～21年）



出典：CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

商品輸出

輸出全般：2021年12月の商品輸出収益は、前年同月比19.9%増の11.56億米ドルに達した。主要カテゴリーすべてで輸出収益が増加、主に工業製品輸出が増加に寄与。一方、2021年累計輸出収益は、前年の125.02億米ドルから24.4%増の125.02億米ドルに達した。2019年に記録した最高輸出収益額119.40億米ドルを更新し、史上最高額を記録。

工業製品輸出：工業製品輸出収益は前年同月比21.3%増。繊維衣料品、石油製品、食品・飲料・タバコ製品などをはじめ、幅広い品目で増加を記録。一方で、印刷業製品（主に紙幣）では減少。繊維衣料品の輸出はすべての主要市場向けで改善。石油製品輸出は、バンカー燃料の輸出価格情報により収益が増加。ゴム製品ではタイヤが輸出額増加を牽引。一方、2021年累計では、主に繊維衣料品、ゴム製品、機械・機械器具、石油製品、食品・飲料・タバコ製品が牽引し、前年比で26.5%増加。

農業品輸出：農産品輸出収益は、主に水産物（主に生鮮・冷凍マグロ）、スパイス（主にコショウ）、小規模農業品（主に食用ナッツ）、ココナッツ（主に乾燥ココナッツ）の輸出増により、前年同月比14.3%増。一方、紅茶の輸出収益は、数量は1.0%増加したが単価が3.1%下落し、前年同月比2.1%減少。2021年累計では、主にスパイス、水産物、紅茶、ココナッツの輸出収益増加により、前年比16.8%増となった。

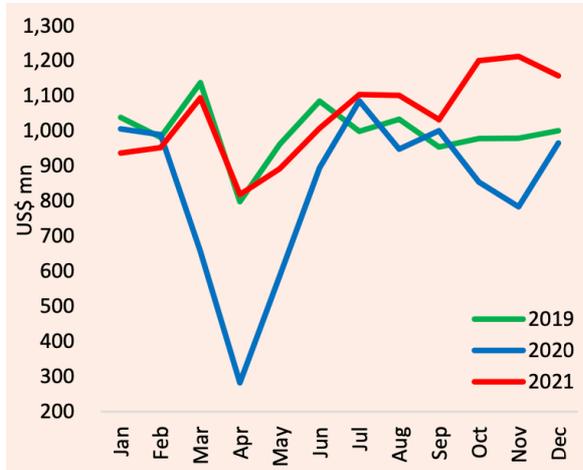
鉱物資源輸出：鉱物資源は土類や貴金属の収益が増加し、前年同月比8.8%増加。また、2021年累計では、主に土石、鉱滓、灰分、貴金属が牽引、前年比77.3%増となった。

輸出指標：前年同月比で輸出量指数は0.2%増、単価指数は19.7%増。前年同月比での輸出額増は主に輸出価格上昇によることがわかる。また、2021年累計では前年比で、輸出量指数は17.1%、単価指数は6.2%増。

【仮訳】

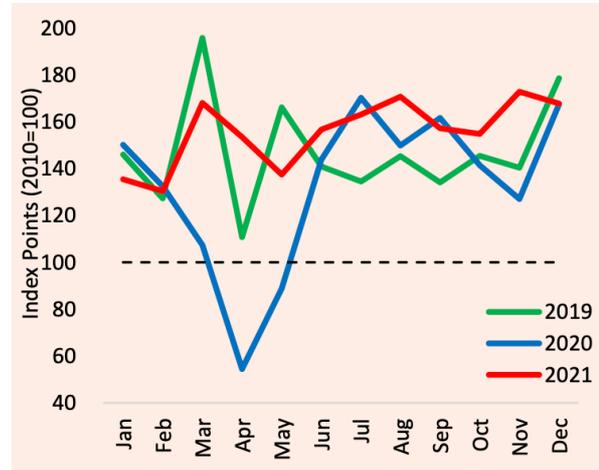
* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

図 4：月別輸出実績



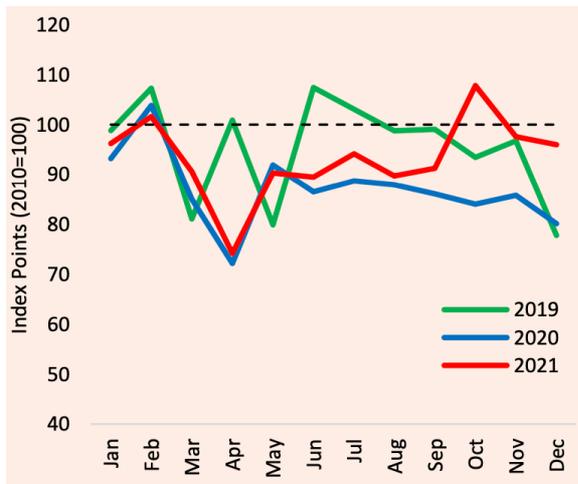
出典：SLC、CBSL

図 5：月別輸出量指標



出典：CBSL

図 6：月別輸出単価指標



出典：CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

表 2：商品輸出収益

カテゴリー	2020年 12月 100万米ドル	2021年 12月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1～12月 100万米ドル	2021年 1～12月 100万米ドル	推移 (%)
1. 工業製品輸出	755.5	916.7	21.3	7,672.0	9,705.1	26.5
食品・飲料・タバコ	41.4	57.4	38.8	464.0	586.9	26.5
動物飼料	7.8	12.3	57.2	102.9	149.4	45.2
繊維衣料品	451.8	533.2	18.0	4,423.1	5,435.1	22.9
衣料品	412.5	484.8	17.5	3,939.2	4,951.5	25.7
生地	25.5	38.9	52.5	259.5	355.4	37.0
その他繊維衣料品	13.8	9.5	-31.3	224.4	128.1	-42.9
ゴム製品	74.9	90.3	20.5	786.1	1,050.4	33.6
宝石・ダイヤモンド・宝飾品	18.7	23.2	24.2	181.5	279.8	54.2
機械・機械器具	39.6	43.2	9.3	337.5	500.9	48.4
輸送用機器	6.9	9.6	40.4	71.4	148.2	107.5
石油製品	31.2	51.0	63.5	373.6	506.4	35.6
化学製品	16.7	21.7	30.0	172.7	223.2	29.2
木材・紙製品	9.7	12.0	23.3	99.3	129.9	30.8
印刷業製品	4.5	2.5	-43.5	47.9	50.0	4.5
皮革・旅行品・履物	4.4	6.4	44.1	53.9	58.4	8.2
プラスチック関連品	6.0	6.3	4.0	176.3	78.6	-55.4
ベースメタル関連品	12.1	15.1	24.7	110.9	156.4	41.1
セラミック製品	3.2	3.0	-4.3	24.0	37.4	56.1
その他工業製品輸出	26.7	29.5	10.5	247.0	314.1	27.2
2. 農産品輸出	203.3	232.3	14.3	2,336.2	2,729.5	16.8
紅茶	113.0	110.6	-2.1	1,240.9	1,324.4	6.7
ゴム製品	4.6	3.2	-30.0	30.1	42.2	40.1
ココナッツ	26.8	31.4	17.2	345.2	425.2	23.2
スパイス	33.1	43.7	32.0	333.5	454.8	36.4
野菜	1.7	2.3	35.6	36.6	28.5	-22.0
非加工タバコ	2.5	2.1	-17.3	25.5	31.6	23.9
小規模農産品	7.3	12.4	69.1	134.7	148.8	10.5
海産物	14.4	26.7	85.2	189.8	274.1	44.4
3. 鉱物資源輸出	4.6	5.1	8.8	25.1	44.5	77.3
4. 非分類品輸出	1.0	2.2	121.1	14.1	22.6	60.1
輸出合計	964.5	1,156.3	19.9	10,047.4	12,501.7	24.4

出典：SLC、国立宝石宝飾品委員会 (NGJA)、国営セイロン石油公社 (CPC) 及び 他石油輸出者、CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

商品輸入

輸入全般：2021年12月の商品輸入支出は、前年同月の15.27億米ドルから46.8%の大幅増の22.41億米ドルとなり、月間としては過去最高を記録。全カテゴリーで増加が見られたが、中間財の増加が最大。2021年累計輸入支出は、前年の160.55億米ドルに対し、28.5%増の206.37億米ドル。

消費財：主に非食品消費財の支出が増加し、前年同月比27.9%増加。非食品消費財は主に医療・医薬品（主にワクチン）が寄与し、前年同月比46.2%増の2.48億米ドル。衣料アクセサリ、化粧品、トイレ衛生用品、ゴム製品（主にタイヤ）も増加。食品・飲料は、主に穀類・精米製品（主にコメ）、果物（主にドライフルーツ、リンゴ）、砂糖が増加。一方、乳製品（主に粉ミルク）、野菜（主にタマネギ）、通信機器（主に携帯電話）、スパイス（主に唐辛子）、水産物（主に小魚）などは減少。2021年累計では、個人用車両の輸入が極端に少ないなか、主に医療・医薬品、通信機器、家電製品、油脂、穀類・精米製品の増加により、前年比で13.1%増加した。

中間財：主に燃料、ベースメタル、繊維および繊維製品、プラスチック及び関連製品、ゴム及び関連製品、肥料の増加により、前年同月比で58.2%増加。燃料は、石油精製品の輸入量が前年同月比43.3%、価格が同45.6%増加し、同比88.2%増加。原油や石炭の輸入支出も輸入価格が増加。1バレルあたりの原油輸入価格は、前年同月に記録した51.89米ドルから72.3%増の85.38米ドルに。ベースメタルは、主に鉄・鋼鉄の輸入増により456.9%増加。一方、小麦は減少。2021年累計では、主に燃料、繊維および繊維製品、ベースメタル、化学製品、プラスチック及び関連製品、ゴム及び関連製品が増加し、前年比で35.6%増加した。

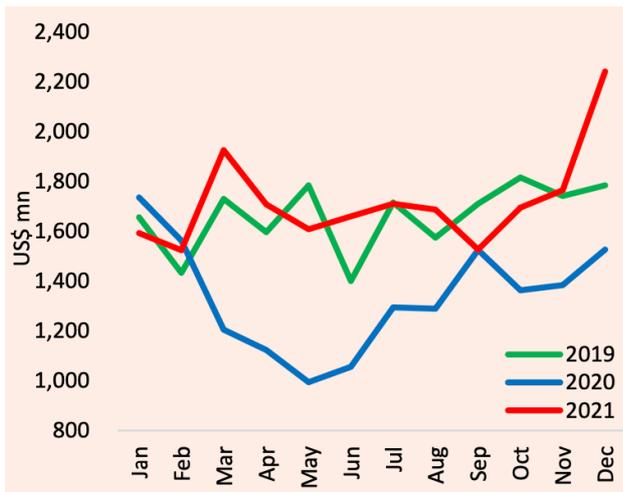
投資財：前年同月比で36.1%増加。機械設備、建設資材、輸送用機器の全投資財カテゴリーで増加。機械設備では、機械設備パーツや事務用機器、タービンが牽引。建設資材は、鉄・鋼鉄および関連製品が牽引。輸送用機器では主に農業用トラクターの輸入が増加。一方、2021年累計では、主に機械設備、建築資材の増加により、前年比で25.2%増加した。

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

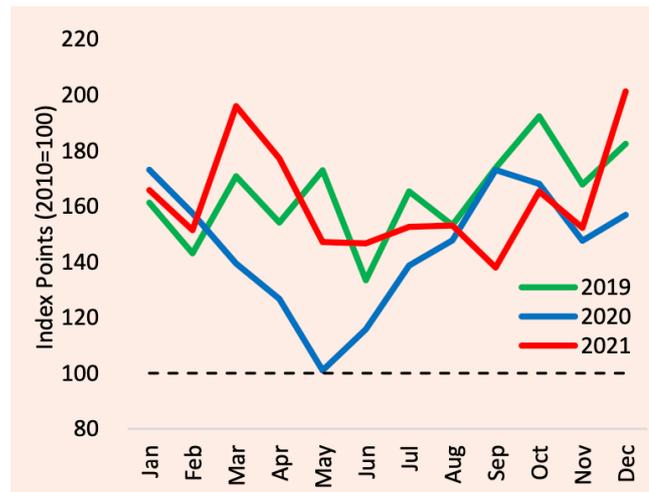
輸入指標：前年同月比で輸入量指数は 28.3%増、輸入量が 3.1%増。前年同月比での輸入額増は主に輸入価格上昇によることがわかる。2021 年累計では前年比で、輸入量指数は 11.5%、単価指数は 15.2%増。

図 7：月別輸入実績



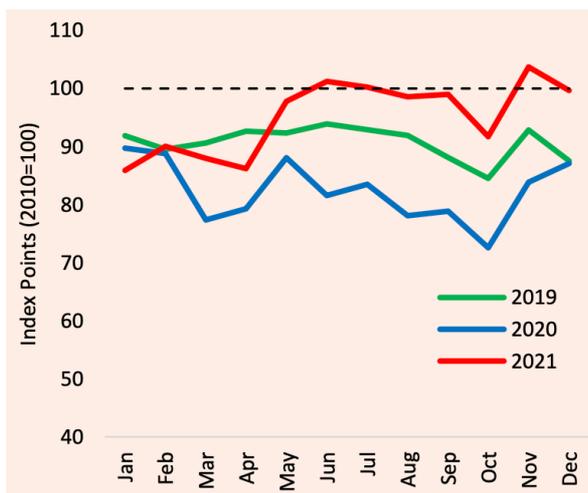
出典：SLC、CBSL

図 8：月別輸入量指標



出典：CBSL

図 9：月別輸入単価指標



出典：CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

表 3：商品輸入支出

カテゴリー	2020年 12月 100万米ドル	2021年 12月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1~12月 100万米ドル	2021年 1~12月 100万米ドル	推移 (%)
1. 消費財	327.7	419.3	27.9	3,401.7	3,848.7	13.1
食品・飲料	158.1	171.2	8.3	1,554.4	1,666.5	7.2
穀類・精米製品	3.4	50.9	1,379.9	33.6	97.4	190.1
乳製品	31.0	14.1	-54.5	333.8	317.7	-4.8
野菜	39.6	33.2	-16.1	352.9	384.3	8.9
海産物	13.0	10.2	-21.3	188.6	122.3	-35.2
砂糖・菓子類	29.8	33.4	12.2	277.1	288.8	4.2
スパイス	11.5	7.0	-39.0	126.9	127.2	0.3
その他食品・飲料	29.7	22.4	-24.7	241.6	328.8	36.1
非食品消費財	169.7	248.1	46.2	1,847.3	2,182.2	18.1
個人用車両	0.5	0.6	23.0	282.9	12.8	-95.5
医療・医薬品	55.0	128.5	133.7	595.5	882.5	48.2
家電製品	22.4	21.5	-4.2	174.2	257.1	47.6
衣類アクセサリ	18.3	23.4	27.6	200.7	221.3	10.3
通信機器	37.3	31.0	-17.0	268.4	382.9	42.6
家庭用品・家具	17.7	16.7	-5.8	146.9	161.2	9.8
その他非食品消費財	18.4	26.5	43.7	178.7	264.4	47.9
2. 中間財	865.0	1,368.3	58.2	9,076.5	12,308.9	35.6
燃料	235.1	442.5	88.2	2,542.6	3,742.9	47.2
うち 原油	38.1	59.7	56.6	583.0	625.1	7.2
精製石油	162.9	339.9	108.7	1,742.2	2,840.0	63.0
石炭	34.1	42.9	25.9	217.3	277.8	27.8
ダイヤモンド、貴石、貴金属	11.1	13.8	24.3	117.2	143.6	22.5
繊維及び繊維製品	234.8	297.9	26.9	2,335.1	3,066.9	31.3
紙及び板紙、関連製品	36.6	37.6	2.7	383.1	468.9	22.4
農業資材	22.5	22.8	1.5	200.8	264.2	31.6
小麦・トウモロコシ	41.9	30.2	-27.8	384.4	418.3	8.8
ベースメタル	33.7	187.5	456.9	460.3	866.4	88.2
プラスチック及び関連品	52.7	77.6	47.4	540.2	765.7	41.8
化学製品	82.1	99.9	21.6	831.5	1,074.4	29.2
肥料	30.4	36.9	21.2	258.9	158.2	-38.9
ゴム及び関連製品	20.3	39.2	93.3	218.7	400.7	83.2
鉱物製品	13.3	13.8	3.8	168.9	158.9	-5.9
その他中間財	50.5	68.4	35.6	634.9	779.7	22.8
3. 投資財	332.8	452.9	36.1	3,563.2	4,462.7	25.2
機械設備	211.2	307.7	45.7	2,176.1	2,809.5	29.1
建設資材	104.7	124.1	18.5	1,035.6	1,248.9	20.6
輸送用機器	16.6	20.8	25.2	348.3	398.5	14.4
その他投資財	0.3	0.3	14.4	3.2	5.8	81.4
4. 非分類品輸入	1.1	0.5	-55.1	14.0	17.1	22.2
輸入合計	1,526.6	2,241.0	46.8	16,055.4	20,637.4	28.5
うち 非燃料輸入	1,291.6	1,798.5	39.2	13,512.8	16,894.6	25.0

出典：SLC、CPC、Lanka IOC PLC、CBSL

【仮訳】

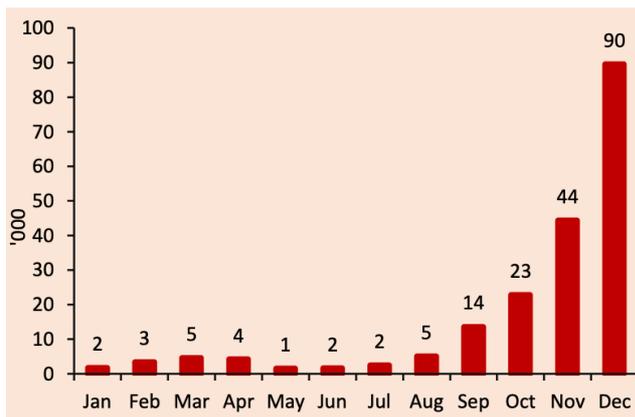
* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

その他の主な経常収支への流入

出稼ぎ労働者による国外からの送金：2021年11月の出稼ぎ労働者による国外からの送金は、前年同月の8.13億米ドルに対し3.25億米ドル。一方、2021年累計での送金額は、前年の71.04億米ドルから22.7%減の54.91億米ドル。2021年12月の国外就労を目的とした出国者数は主に家事手伝い、スキルワーカー、非スキルワーカーで、前月比22.4%増の24,241人と増加を続けた。2021年累計では、スキルワーカー（38,333人）、非スキルワーカー（30,431人）、家事手伝い（29,493人）、専門職（7,830人）、事務および関連職（6,114人）、中堅（3,962人）、準スキルワーカー（1,789人）の計117,952人。

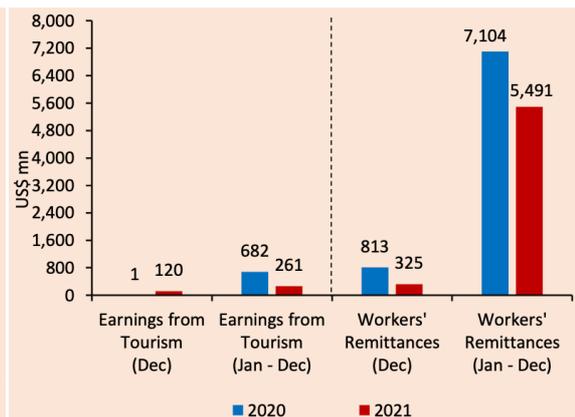
観光客到着数：2021年12月の観光客到着数は、前月の44,294人に対し89,506人。2021年累計での観光客数は194,495人、前年は507,704人だった。12月訪問観光客の主な出発国は、インド、ロシア、イギリス、ドイツ、ウクライナ。2021年12月の推計観光収益は1.2億米ドル。2021年累計での観光収入は、前年同期の6.82億米ドルに対し、2.61億米ドルと推定。

図 10：月別観光客到着数



出典：SLTDA

図 11：観光・送金収入



出典：SLTDA、認可銀行、CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

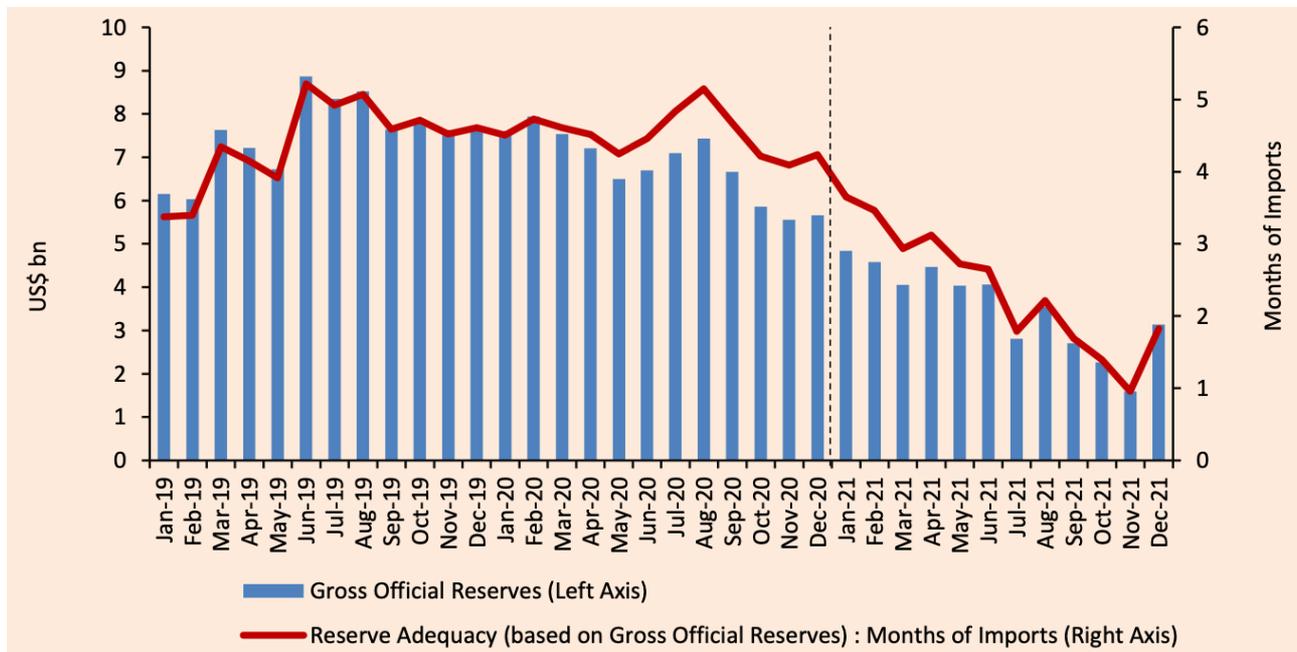
資金フロー

2021年12月の政府証券市場では、外国投資の限定的な純流出を記録。2021年累計での政府証券市場からの累積純流出額は2,700万米ドルで、2021年12月末時点でのエクスポージャー総額は1,000万米ドルと低水準のままに。一方、2021年12月のコロンボ証券取引所（CSE）からの純流出額は400万米ドル、2021年累計では2.38億米ドルの純流出。

公的準備高

2021年12月末の総公的準備金は、31億米ドル。総公的準備高と銀行セクター外国資産を合わせた総外国資産は、2021年12月末時点で61億米ドル。

図 12：総公的準備高と準備高の充足状況



出典：CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

為替レートの変動

インターバンク市場における加重平均スポット為替レートは、引き続き1米ドルあたり200~203ルピーの範囲内で概ね安定的に推移。2021年年度でのスリランカルピーの下落率は、対米ドルで7.0%に限定された。クロス通貨の動きを反映し、2021年中にスリランカルピーは、ポンド、豪ドル、インドルピーに対して下落、ユーロと日本円に対しては上昇。一方、スリランカルピーは2022年2月11日までに米ドルに対して0.8%下落。クロス通貨の動きを反映し、2022年2月11日までにスリランカルピーは、ユーロとポンドに対して下落、インドルピーと豪ドルに対しては上昇、日本円に対しては変動なし。

図 13：対米ドルでのスリランカルピーの動き



出典：CBSL

表 4：主要通貨に対するスリランカルピーの動き

通貨	2020年	2021年	2022年2月11日時点 ルピー安 (-)/ ルピー高 (+)
米ドル	-2.6%	-7.0%	-0.8%
ユーロ	-11.2%	1.1%	-1.5%
英ポンド	-6.2%	-6.0%	-1.2%
日本円	-7.5%	3.8%	0.0%
豪ドル	-11.4%	-1.2%	0.7%
インドルピー	0.0%	-5.5%	0.1%

出典：CBSL